

## 各地での白山開山 1300 年祭礼(昨年)と関連の催し

長岡正利

演者は本学会 2016 年大会で、一向一揆(天正 2(1574)年)や明治の廃仏毀釈を経ても現代に遺った白山信仰の諸仏(うち重文が 2 点)などを紹介した。白山は、伝承に拠れば、養老元(717)年に越前の修験僧・泰澄が登頂・開山したとされ、昨年がその 1300 年目にあたることから、関係の各地では開山 1300 年祭が華やかに催された。

その創祀史実については下記文献に委ねるとして、ここでは、白山の三馬場(越前の白山平泉寺、加賀の白山比咩神社、美濃の長瀧白山神社)などでの白山開山 1300 年祭を紹介するとともに、神仏習合の面影を伝える富山県南砺市の五箇山上梨白山宮の祭礼を写真紹介する。その御本尊は十一面観音(神社ではあるが)で、33 年毎の御開帳が来春にあたる。



平泉寺白山神社の拝殿両翼に広がる一向一揆で焼亡の三十三間拝殿礎石列



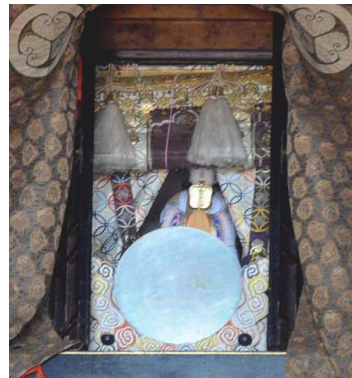
開山1300年祭で開扉の拝殿内部  
中央の繪馬は室町期とされている



寄進年が読み取れる繪馬の一つ、  
寛永15(1638)6月18日 越前藩主松平家の



開山1300年祭で開扉の本社奥殿と、



奥にのぞく白山女神像御前立ちお顔



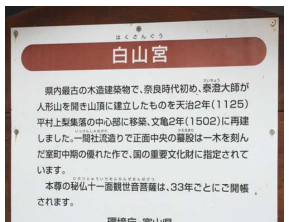
越前藩主が寛政7(1795)年再建の本社  
奥殿の「白山妙理大権現」額と昇り龍



夜の訪れと共に始まる五箇山白山宮の秋祭り



当日昼の奉納踊り



本尊が33年毎に御開帳(次は来年5月11・12日)との標札と、重文説明にもその旨が

【文献】若林喜三郎編『白峰村史、上・下巻』。白峰村役場(1962・1959)

北國新聞白山総合学術調査団編『白山』。北國新聞社(1962)

白山本宮神社史編纂委員会編『白山比咩神社史—古代・中世編』。北國新聞社(2016)

平泉隆房「越前馬場の信仰」。『悠久』No.148 特集「白山信仰」鶴岡八幡宮(2017)

平泉隆房「泰澄大師の出自と『泰澄和尚傳記』」。『藝林』Vol.66-1(2017)

勝山市編『白山平泉寺—よみがえる宗教都市』。吉川弘文館(2017)